

氏名・職位	菅田 文子（すがた あやこ） 教授
担当科目	[教養科目] 音楽療法入門、教養・キャリア基礎演習Ⅰ、Ⅱ [専門科目] 音楽療法基礎、音楽療法臨床、音楽療法技法、ポピュラー音楽史、臨床における即興技法、音楽療法総合演習、音楽心理学、音楽療法実践Ⅰ、Ⅱ、卒業論文、臨床実習（事前事後指導を含む）音楽総合特講Ⅰ、Ⅲ
研究分野	音楽療法、音楽心理学、障害者福祉学
学位	修士（地域科学）
主な 教育研究 業績	【著書】 ・「音楽療法ワークブック 相手を活かす即興と伴奏」平成 20(2008)年 8 月、あおぞら音楽社 ・「弾き語りキーボード・セッション-1 音楽療法の必須 100 曲 高齢者編」平成 21(2009)年 9 月、あおぞら音楽社 ・「弾き語りキーボード・セッション-2 音楽療法の必須 100 曲 子ども編」平成 22(2010)年 3 月、あおぞら音楽社 ・「弾き語りキーボード・セッション-3 音楽療法の必須 100 曲 おとな編」平成 22(2010)年 10 月、あおぞら音楽社 ・「弾き語りキーボード・セッション-4 音楽療法の必須 100 曲 ノスタルジー編」平成 26(2014)年 9 月、あおぞら音楽社 【翻訳】 ・「コミュニティ音楽療法への招待」風間書房、令和元(2019)年、第 6 章、第 8 章 【学術論文】 ・「臨床的設定における即興演奏体験―健常学生を対象とした試み（その 1：音楽療法専攻学生）」共著 平成 19(2007)年 7 月、日本音楽療法学会誌第 7 巻 1 号、52-61. ・「臨床的設定における即興演奏体験―健常学生を対象とした試み（その 2：非音楽専攻学生）」共著 平成 21(2009)年 5 月、日本音楽療法学会誌第 8 巻 2 号、164-175. ・「西濃地域における音楽療法普及状況調査―第 3 回調査の結果報告と今後に向けた課題―」単著 平成 21(2009)年 3 月、大垣女子短期大学紀要第 50 号、83-94. ・「臨床即興による相互作用過程の分析―健常幼児を対象として―」共著 平成 21 年(2009)年 12 月、日本音楽療法学会誌第 9 巻 1 号、3-15. ・「本学音楽療法コースの教育実践―就職を念頭においた教育」平成 22(2010)年 3 月、単著、大垣女子短期大学紀要第 51 号、65-73. ・「ロシア・サンクトペテルブルグの障害児教育を訪ねて」共著 平成 23(2011)年 3 月、立命館大学紀要「人間発達研究所通信」第 125 号 ・「西濃地域における音楽療法普及状況調査―第 4 回調査の結果報告と今後に向けた課題―」平成 25(2013)年、大垣女子短期大学紀要第 54 号. ・「インターネットテレビ電話を活用した音楽療法実施の検討」大垣女子短期大学紀要、平成 27(2015)年 3 月、単著、大垣女子短期大学紀要第 56 号. ・「音楽療法コースと聾学校音楽部との交流を通じた教育実践」令和 2(2020)年 5 月、単著、大垣女子短期大学紀要第 61 号.

所属学会	・ 日本音楽療法学会 ・ 日本感情心理学会 ・ 日本自閉症協会 ・ American Association of Music Therapy
社会的 活動業績	・ 日本音楽療法学会 理事 ・ 日本音楽療法学会東海支部 事務局長 ・ 全国音楽療法士養成協議会（音楽療法・音楽教育充実向上委員会） ・ 2023 年日本音楽療法学会学術大会 大会長
その他	